



子どもからシニアまで優しい街づくり

浦安を“日本一” シニアが輝く街に!

吉村 啓治

よし

むら

けい

じ

シニアは地域の人的資源。元気なシニアが街をもっと豊かにする



12月議会一般質問は、浦安市の治水(防災・減災)対策に絞り込み、一般質問しました。その内容については、既に、議会報告Yoshimura Report Vol.18で詳しく報知させていただきました。

Vol.19では、浦安市の治水対策の内、県や国と協議して進めて行かなくてはならない対策事案に絞り込み、答弁通り忠実に掲載しました。

市議会議員に奉職し、二期5年目となります。多岐にわたり市政活動をさせていただいております。これからも、明朗・愛和・喜働そして純情の気持ちを心掛け、市民から寄せられる要望やご意見に傾聴してまいります。

浦安市は台風や集中豪雨が来ても土砂災害の危険性はなく、護岸が強化されているので河川や海岸から水が越水することは考えられません。雨水排水施設の処理能力を超えた場合や高潮による河川の逆流する場合に道路冠水(内水氾濫)が発生する可能性があります。本市では、市内の河川に設置した水位計で河川の水位を、また、雨水管内の水位をマンホールアンテナによりリアルタイムにモニター監視しています。さらに、貯留槽や貯留管などの整備計画が進められています。



▲リアルタイムに表示されるモニター

境川河口部の水門設置の必要性について

埋め立てにより形成された中町・新町地域においては、地盤沈下により著しく排水機能が低下しており、大雨の際には道路冠水が発生しています。この地盤沈下により低くなった埋め立て地の地盤高や雨水排水施設の高さを当初の高さに戻すことができない現状において、この状況は単なる内水排除の問題に留まらず、地盤沈下に起因した津波や高潮対策にも関連する重要な課題となっています。



▲境川河口

この事から、境川河口部の水門につきましては、早期に設置する必要があると考えており、県との協議を進めます。

道路冠水対策の貯留管理設工事について

舞浜地区につきましては、国道357号と市道幹線6号が交わる舞浜交差点周辺が地盤沈下の進行などにより、大雨時には道路冠水し、車両等の通行に支障が生じています。

市道幹線6号の直下に貯留管(3mφ×800mの規模)の整備を計画しており、現在、国と協議を進めているところです。工事につきましては、国道部と市道部にまたがることなどから、工事は国が行い、整備費用については、負担割合により市が負担金を支払うことで協議しており、現在、施工方法や施工時期、また、負担割合などについて国と協議しています。



▲旧江戸川⇒貯留管のイメージ写真

吉村 啓治 プロフィール

- ・1950年長野県南木曾町生まれ
- ・約40年にわたる民間企業で培った経験を活かして「浦安を“日本一”シニアが輝く街に!」を実現するため、浦安市政に挑戦し2015年初当選。
- ・2019年統一地方選挙において再選される。
- ・浦安市議会 教育民生常任委員会 委員
- ・会派「市民の会」代表
- ・議会運営委員会 委員
- ・立憲民主党千葉県連合 幹事
- ・全国災害ボランティア議員連盟 会員
- ・浦安シーサイドライオンズ 会員
- ・浦安市倫理法人会 幹事
- ・従心会倶楽部 シニアアドバイザー
- ・NPO法人ゆい思い出工房 理事



Yoshimura Report

見明川河口部の企業岸壁について

見明川河口部の企業岸壁につきましては、昭和40年代前半に建設されて以降、地盤沈下等により約1.5メートル程度沈下している状況であり、その後、県により嵩上げた護岸も50センチメートル程度沈下している状況です。



▲見明川企業岸壁

また、背面の海岸保全施設となっている道路につきましても、2メートル程度沈下している状況です。市といたしましては、早期に計画天端高の確保及び耐震化について、千葉県に要望しているところですが、県においては、海岸保全施設の現状と課題等について、平成29年度に2回、30年度1回、鉄鋼団地協同組合との協議を行い、対策方法等の検討を行っています。

旧江戸川緩傾斜護岸工事について

現在県により進められている、旧江戸川低地対策事業である緩傾斜護岸工事については、工事範囲約1,380メートルのうち、川側の整備は約1,070メートルが完了し、現在、市街地側の整備及び堀江排水機場の樋管部の整備を行っている状況であり、堀江ドックを除き完了までにはあと2年程度かかる見込みであるとの県の見解です。改めて、急ぐように要望しました。



▲旧江戸川堤防耐震化排水樋管工事

◆境川の江川橋～新橋間の工事中の護岸修景計画の見通しについて

◇境川Bゾーンは、平成17年度から工事に着手し、現在、両岸約1,180メートルのうち、約1,110メートルの整備が完了している状況。



▲護岸修景工事のパネルで質問中

今年度は、新橋下流部堀江側及び猫実側の護岸工事を行う予定ですが、現在、堀江側広場前の河道掘削工事の契約が終わり、今後、護岸工事の発注を行う予定となっており、全体の完成の見込みとしては、令和2年度末であるとの県の見解です。



▲境川に溜まった土砂取り除き作業中

◆境川沈船二隻沈船処理について

◇沈船の撤去は、河川法、港湾法及び漁港漁場整備法に基づき、水域管理者が行うこととされており、境川の沈船については、河川管理者である千葉県と漁港管理者の浦安市が水域管理者として対応することになります。



◀沈船写真パネルで質問中

所有者を調査し、所有者が特定できた場合には、その所有者に適正な管理を指導し、所有者が特定できない場合には、水域管理者で協議し、公告等の手続きを経て状況に応じて簡易代執行、または廃棄物として沈船を処理することになり、当該沈船2隻については、現在、千葉県と所有者の調査など、今後の対応を調整するとのことでした。



▼放置されている沈船

市民相談から

富岡4丁目自治会班長から、357号線防音壁と住宅の間の緩衝緑地帯で繁茂した桜・カイズカイブキなどの剪定修景を要望され、みどり公園課に要請したところ、速やかに剪定していただき、要望者に喜んでいただきました。



▲剪定前の様子

富岡1丁目～4丁目の緩衝緑地帯の剪定修景は3回目です。松などの高木の剪定計画については、来期予算申請後の実施となる見込みです。

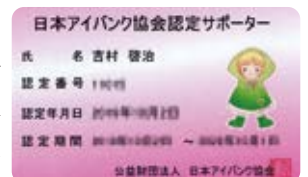


▲剪定後、明るく見通しが良く成りました

●献血・骨髄バンク登録・献眼登録支援活動



浦安シーサイドライオンズのメンバーとして毎月第二日曜日に新浦安駅前ロータリーに於いて日本赤十字社の献血活動支援と骨髄バンクドナー登録やアイバンク協会認定サポーターとして、献眼登録の推進活動もさせていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。



編集後記

暖冬異変でスキー場や除雪企業、冬物商品販売の落ち込みなど関連企業が困難な状況の中で、追い打ちをかける様に、新型コロナウイルスの感染拡大により、観光産業も甚大な影響を受けています。

浦安市では、1月27日対策本部を設置し、国や県、保健所と緊密な連携を取りながら、組織横断的に対策会議を重ね、市を挙げて感染症対策に取り組んでいます。一日も早い終息を祈ります。

写真は1月2日オリエンタルホテルのお客様にお囃子と獅子舞を提供しました。丸音会の一員として来場者の弥栄を祝いました。



吉村啓治

インフルエンザ・新型コロナウイルスの予防に、外から帰ったら、手洗い、うがいを必ずしましょう！
※石鹸が無い場合は最低でも60秒洗いましょう！

吉村啓治と浦安を語ろう！

吉村直通ホットライン 090-1551-4450
 メール Yoshimurakeiji729@gmail.com
 TEL&FAX 047-353-4527
 ホームページ <http://d-power.jp/>



市政相談や市政へのご意見・ご要望をお寄せください。
吉村 啓治を応援して下さる元気なシニア募集中！
若者も大歓迎！！

※議会報告のポスティングや市政報告会の開催などが、主な活動です。



Yoshimura Report